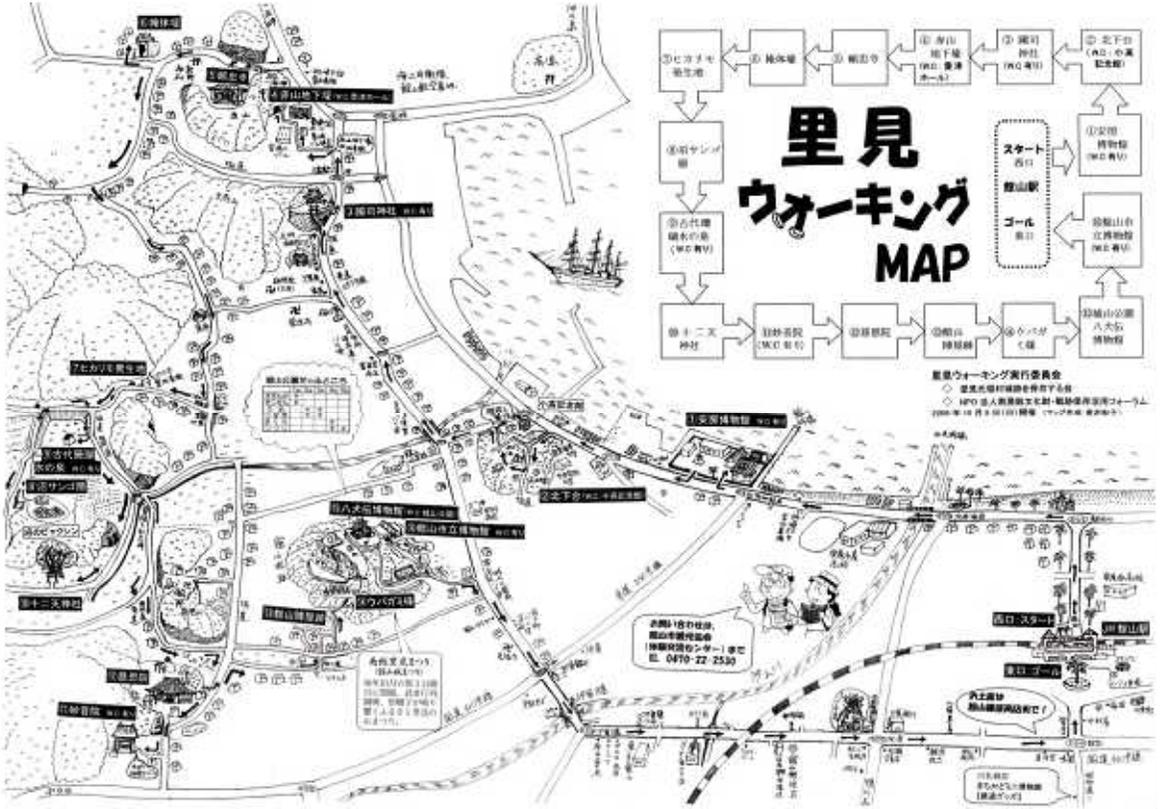


◎ この記念誌は、「里見ウォーキング」のコースを解説したガイドブック『海とともに生きるまち』の特別版です。



房総半島南部の安房国・館山は、古くから海路を通じてさまざまな人びとが往来し、黒潮とともに生きたまちです。戦国大名里見氏の城下町で「南総里見八犬伝」のふるさとです。戦争になると東京湾要塞の軍都として重要な役割を担いました。美しい自然や歴史・文化遺産をめぐる「里見ウォーキング」に参加した人びとは、館山の魅力を再発見しています。コースをエリア別テーマ別に編集した『海とともに生きるまち』は、ウォーカー必携のガイドブックです。どうぞお楽しみください。



## 活動のあゆみ



1996年、里見氏稲村城跡を保存する会が発足。市民の手でヤブを刈って整備し、看板を設置してウォーキングやシンポジウムなどを開催し、市民の文化活動を通じて稲村城跡の保存と史跡化を訴えてきた。



2000年には、里見氏ゆかりの鳥取県倉吉市・関金町や群馬県榛名町（現高崎市）に呼びかけ、里見サミットが実現。関金子ども歌舞伎の公演など里見交流がスタートした。





「戦後50年の集い」や公民館講座から誕生した戦跡保存調査サークルを経て、2004年の赤山地下壕の一般公開を契機に、NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラムを設立(2008年に改称)。本格的にガイド活動やまちづくり事業をすすめた。同年に開催した第8回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会の基調報告で、館山市教育委員会は戦跡群をまるごと保存し活用する「オープンエアミュージアム～館山歴史公園都市」構想を発表。翌年、赤山地下壕の市史跡化が実現した。



館山の福祉施設内に、「戦闘指揮所」「作戦室」と刻まれた額と天井に龍のレリーフが彫られた地下壕がある。同施設には「噫従軍慰安婦」の碑があるため、平和・人権研修のスタディツアー希望者が増える。

この龍の壕を舞台に平和祈念の映画『赤い鯨と白い蛇』が誕生した。安房高女・安房南高校卒業のせんぼんよしこ監督作品。



本土決戦抵抗拠点  
128高地

「戦闘指揮所」  
「作戦室」  
昭和19年12月竣工  
中島分隊



明治期に太平洋を渡った安房のアビ漁師たちは、カリフォルニア・モントレー湾域に移住し、日米親善に貢献しながらも、戦争によって別れ離れになってしまった。半世紀を経て、市民の地道な調査によって埋もれた歴史に光が当たり、「戦後60年」の米占領軍館山上陸の日米国市民40名が来房した。平和祈念交流が実現するとともに、二世三世の初対面や墓参を果たし、世界史的な史実も明らかになりつつある。



平和学習が契機となり、安房南高校生徒会では、内戦やエイズで苦しむ孤児たちのためにウガンダ支援活動をはじめた。2008年に安房南高校が統廃合されたが、この活動はNPOフォーラムや安房・平和のための美術展、安房高校JRC部などに引き継がれている。



**虹のかけ橋**  
ウミホタルとアビがむすぶ日米交流  
SPIRIT OF MONTEREY & MINAMIBOSO

合唱組曲：大門高子 作詞 藤村紀一郎 作曲

**「ウミホタル—コスモブルーは平和の色」**  
初演コンサート

II  
**太平洋をわたった房総のアビ漁師たち**  
スライドによる講演 / 日米対談

定本船主 千原重雄 対談 VS 日本対談 米対談 米シニアライオン社

日時 **2005年9月3日土 13:30 - 16:00** (13:00開場)

会場 **千葉県南総文化ホール 大ホール** 入場無料 (電子譜有 500円)

主催 ㈱「虹のかけ橋」実行委員会 実行委員長 千原重雄 問合せ 0479-24-0020  
共催 ㈱アビ漁師協会 船橋保存会フォーラム / 千葉県文化審議会 他 賛助 ㈱ウミホタル 知真実行委員会  
後援 千葉県庁、ちば国際コンベンションセンター、藤山会、藤山会教育委員会、など



戦時下の子どもたちがウミホタル採取を命じられていたエピソードから、合唱組曲がつくられ、ウミホタル合唱団・安房も誕生した。

合唱組曲  
**ウミホタル**  
～コスモブルーは平和の色～

大門 高子 作詞  
藤村紀一郎 作曲

北面	西面	南面	東面
朴天 載天 天	天 天 天	天 天 天	天 天 天
于時元知(辛卯)日由原州于歸行全義花樓正北端壁行	南無阿彌陀佛	南無阿彌陀佛	南無阿彌陀佛



江戸期の館山に建立された大巖院のハングル「四面石塔」を活かした国際理解教育は、日韓両国の歴史教育者から注目され、2002年には日韓歴史シンポジウム、2005年には韓国浦項(ポハン)の小学生20名が来館し日韓子ども交流をおこなった。



**済洲島の大学教授視察**  
館山の戦跡や韓国人海女の墓地巡る  
房総との歴史的關係に關心

大正から昭和初期にかけて、済洲島のアワビ海女たちが房総にも多く移住している。和田浦で活躍した海女たちは、戦後、鴨川の長興院に多くの墓碑を建立している。

明治期、館山で訓練していた水産教育の練習船「快鷹丸」が朝鮮海域で座礁した。韓国浦項(ポハン)では、「海に生きる男の友情の証」として地元漁師たちが今なお遭難記念碑をまもっている。



**韓国に4作品を寄贈**  
浮書絵彫りに感謝と友好の願い込め  
館山山のきようNPOメンバーら訪韓し



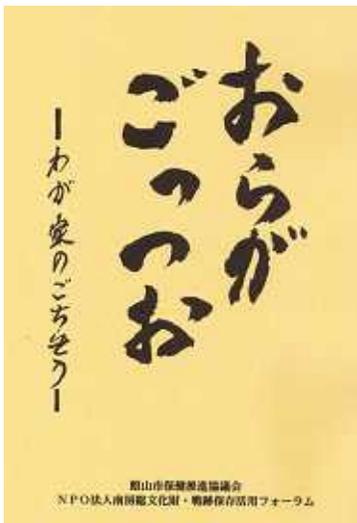
2009年夏に訪韓。ソウル平和博物館主催の教員平和研修にて講演。さらに、仁川では歴史・文化遺産を活かしたまちづくりの市民グループとの実りある交流が実現した。



練習船遭難100年



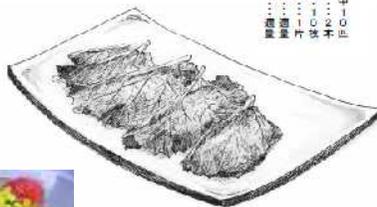
小高記念館(大正期の銀行建物)を生涯現役で活躍する「創年」のたまり場として、2006年に開館。観光キャンペーン(ちばDC)では商店街と連携を図り、空き店舗や既存店を「まちなかどミニ博物館」とし、まちなかの活性化に寄与した。知恵袋講座や地図づくり講座、元気なまちづくり市民講座などを開催し、参加者のアイデアからさまざまなプロジェクトが誕生。



## レシピ集「おらがごっつお」

保健推進協 食文化を紹介  
など作成

- 材料
- アジ……中10匹
- 長葱……10本
- 蕎麦の葉……10枚
- 生卵……1杯
- 味噌……適量
- 醤油……適量



さんごの路の葉包み焼き  
●紹介者・熊澤幸美(七十五)



八幡の祭りには欠かせない渡井地区の名物です。和菓子がついでお楽しみと愛の人におもてなすので味付けは濃い目にしています。お好みで減減してください。



- 材料
- お米……適量
- 豚肉……100g
- 豚骨……100g
- 味噌……適量
- 醤油……適量
- みりん……適量
- 水……お茶2と1/2杯

安房の食文化研究プロジェクトが誕生し、館山市保健推進協議会との協働により、郷土料理レシピ集『おらがごっつお』を作成した。

公式サイト(<http://bunkaisan.awa.jp/>)の「持続可能なまちづくり」にて閲覧可能。2009年度は富崎地区の漁村料理を調査中。乞うご期待。

日本を代表する画家・青木繁が《海の幸》を描いてから100年を機に、2005年より富崎地区コミュニティ委員会との協働でまちづくり事業をすすめている。



▲富崎小学校卒業制作《海の幸》 ▼児童による安房節演奏



かつてはマグロ延縄船発祥の地として栄えた漁村も少子高齢化がすすみ、現在は約500世帯1,000人の富崎地区。児童数15名の小規模校ながら富崎小学校では、青木繁・安房節(舟唄)・アジのひらきの頭文字をとって「3つの「あ」」のふるさと学習をすすめている。

2008年秋には、同地区住民と全国の美術関係者が発起人となって「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」を発足。現在、青木繁が滞在した小谷家住宅は館山市指定文化財の審議中。生田勉設計による《海の幸》記念碑は、青木繁の没後50年に館山市長をはじめ著名な画家らが資金調達に奔走して建立されたという由緒あるもの。ふるさと学習にちなんで取り組み中の「漁村が誇る3つの「あ」のまちづくり」事業が、国土交通省の「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業に選定された。



館山には、手作り甲冑という市民文化がある。昨今の歴史ブームでは、若い女性を中心に戦国武将の人気の高い。なかでも、戦国系アニメやゲームの武将キャラクターに似せた衣装を制作し、自ら扮する若者文化をコスプレという。

市内外の歴史ファンや殺陣師とともに多様なまちづくり事業に取り組み、里見氏城跡群の保存・活用を図っている。

義のこころを語り継ぐために、2010年には、万石騒動安房三義民300年祭が開催される予定。

あしたのまち・くらしづくり活動賞  
内閣官房長官賞



地域観光振興部門  
千葉県文化の日功劳賞



文化財保存全国協議会  
和島誠一賞



20世紀後半に行われてきた歴史的環境を保存する文化財保存運動の先駆けをなし、大きな足跡を残した考古学者故和島誠一氏(岡山大学教授)を記念した文化財保存の賞です。和島氏は考古学的に科学的精神を啓発され、神奈川県三殿台遺跡などの遺跡保存を積極的に進められたことをはじめ、文化財保護思想の普及を広く提唱し、また積極的に実践を行いました。文化財保存全国協議会では、和島氏が遺された文化財保護思想の遺産に深く学びながら、21世紀に文化財保護、活用および普及をさらに飛躍的に発展させる期待を込めて、遺跡保存に顕著な功績を挙げている個人と団体を表彰しています。